

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	AC410/地誌学 2 (Regional Geography 2)		
担当者名 (Instructor)	三原 昌巳(MIHARA ATSUMI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	HIS2600	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

この科目は、具体的な事例に基づいて地域と生活の密接な関係を理解できるようになることを目標とする。

This subject aims to enable students to understand the close relationship between local regions and lifestyles, based on specific examples.

#### 授業の内容(Course Contents)

授業では、世界各地の環境や生活を紹介し、自然環境と人文事象の要素を考察する。まず、世界の地域構造を概説し、次にアジアからヨーロッパにかけての各地域を事例として、その地域を象徴するテーマを取り上げて解説する。

This class will introduce the environment and lifestyles in regions around the world, and consider the elements of the natural environment and human phenomena. First, it will provide an overview of the regional structure of the world, and then, using regions from Asia to Europe as examples, will take up and describe themes that symbolize the regions.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス:地誌学とは何か、地誌学の研究方法
2. 地誌学の意義:世界を理解するためのアプローチ、世界の地域区分
3. ユーラシア大陸の自然環境、国家とその特色
4. アジアの地誌(1):東アジアの文化圏
5. アジアの地誌(2):東アジアのグローバル経済
6. アジアの地誌(3):東南アジアの生態
7. アジアの地誌(4):南アジアの産業
8. ヨーロッパの地誌(1):自然環境と文化
9. ヨーロッパの地誌(2):都市の構造
10. ヨーロッパの地誌(3):東ヨーロッパの変容
11. ヨーロッパの地誌(4):観光
12. ヨーロッパの地誌(5):北欧の政策
13. ユーラシア地誌の総括:比較地誌を試みる
14. まとめと再考、授業全体に対するフィードバック

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

予習として、授業で扱う地域を地図帳やインターネットで確認し、基本的な位置関係や地名を確認しておくこと。また復習として、講義で学んだ地域について関心を持ち、その地域の出来事について新聞や本などで情報を収集すること。参考文献のほか、授業時間内にも様々な文献を紹介するので、授業で関心を抱いた内容について文献を積極的に読み、自分なりの意見をまとめること。配布資料を読み直し、不明な点を自分で調べること。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(60%)/授業時の課題(10回×4)(40%)

2/3以上の出席をしていない場合は、単位履修不可である。

#### テキスト(Textbooks)

なし

#### 参考文献(Readings)

1. 加賀美雅弘・川手圭一・久邇良子、2010、『ヨーロッパ学への招待—地理・歴史・政治からみたヨーロッパ』、学文社 (ISBN:978-4-7620-2410-8)

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

パワーポイントを使用した講義形式で、資料を適宜配布する。配布資料は各自保管し、授業内容の理解に役立ててください。履修者の理解度や興味に応じて、授業の進捗や順序を変更することがあります。

